

～～第8836回～～

「静岡県山岳連盟主催」初級山岳レスキュー

～R2. 1. 18～

県岳連主催初級山岳レスキュー講習会を受講した。「あざれあ」で行われ会費 1,000 円を納めて席に着くと時間通りに開会した。県岳連会長挨拶に続いて講師の紹介があり講義に入る。会長挨拶の中で「レスキューは繰り返しが大切」と言われたが私も繰り返し受講することが大切だと思う。最初はセルフレスキューの講義であった。講師から「パーティーの先頭と最後尾は誰がやりますか」という質問があったが先頭がサブリーダー、最後尾がリーダーというのが教本等にも書かれている答えだ。ワンゲルでは先頭にリーダー最後尾がサブリーダーで伝統的に山行が行われている。ワンゲル行事ではリーダー経験者がサブリーダーを務めることが多いので問題ない。レスキューに必要な装備品の参考例の解説があったが全ての物は持って行けそうにない。自分で判断して選別するしかないが、もし分からなければ経験者に相談すれば良いと思う。山でのファーストエイドでは低体温症、熱中症について解説があった。講義中に思い出したが、だいぶ前の夏山で熱中症と思われる症状で登頂を断念した人があった。その判断は正しかったと思うが、もし自分に対処法の知識があったら回復させることが出来たのではと思ひ、改めて講習会の意義を感じた。ただ搬送法の講義の中でいつも習う 1 人で行う搬送法は、ワンゲルの大多数の年齢層では無理だと思った。考えようによっては無理なものが認識できただけでも講習会を受講した意味があるのでは。そう言うふうに思っ今後出来るだけ受講するようにしたい。

参加者：13名（静岡北5、静岡東2、静岡西3、焼津1、藤枝1、磐田1）

天気：曇のち雨

コースタイム：900-1600

記録：静岡北支部 恩田富夫

